

地方独立行政法人加古川市民病院機構 新統合病院建設整備事業

基本設計のあらまし



南面イメージパース

平成 28 年秋の開院を目指す新統合病院は、

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| (1) 急性期総合医療、救急医療を提供する機能 | (2) 患者支援に配慮した温かみのある療養環境 |
| (3) チーム医療の推進に向けた職場環境 | (4) 将来の高度医療導入可能な可変性、拡張性 |
| (5) 働きやすく、学べる病院としての環境 | (6) 自然災害時にも機能維持できる設備 |
| (7) 医療安全、防犯、セキュリティの確保 | |

の 7 つの整備方針の下に、患者さんにとっても職員にとっても満足度の高い急性期病院を目指して、現在設計に取り組んでいるところです。本年度中の着工を予定し、竣工は平成 28 年 6 月を予定しています。

この度、平成 24 年 12 月から進めてきました新統合病院の基本設計が完了しましたので、その概要をとりまとめました。

1. 新統合病院の概要

(1) 病床数：一般 600 床

(救急病床 14 床、E-ICU 12 床、G-ICU 14 床、HCU 16 床、NICU 15 床、
GCU 30 床、MFICU 6 床を含む)

(2) 予定診療科：28 診療科

内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病代謝内科、腎臓内科、神経内科、小児科、
外科、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、整形外科、形成外科、
リハビリテーション科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、脳神経外科、放射線科、
麻酔科、精神・神経科、歯科口腔外科、病理診断科、救急科

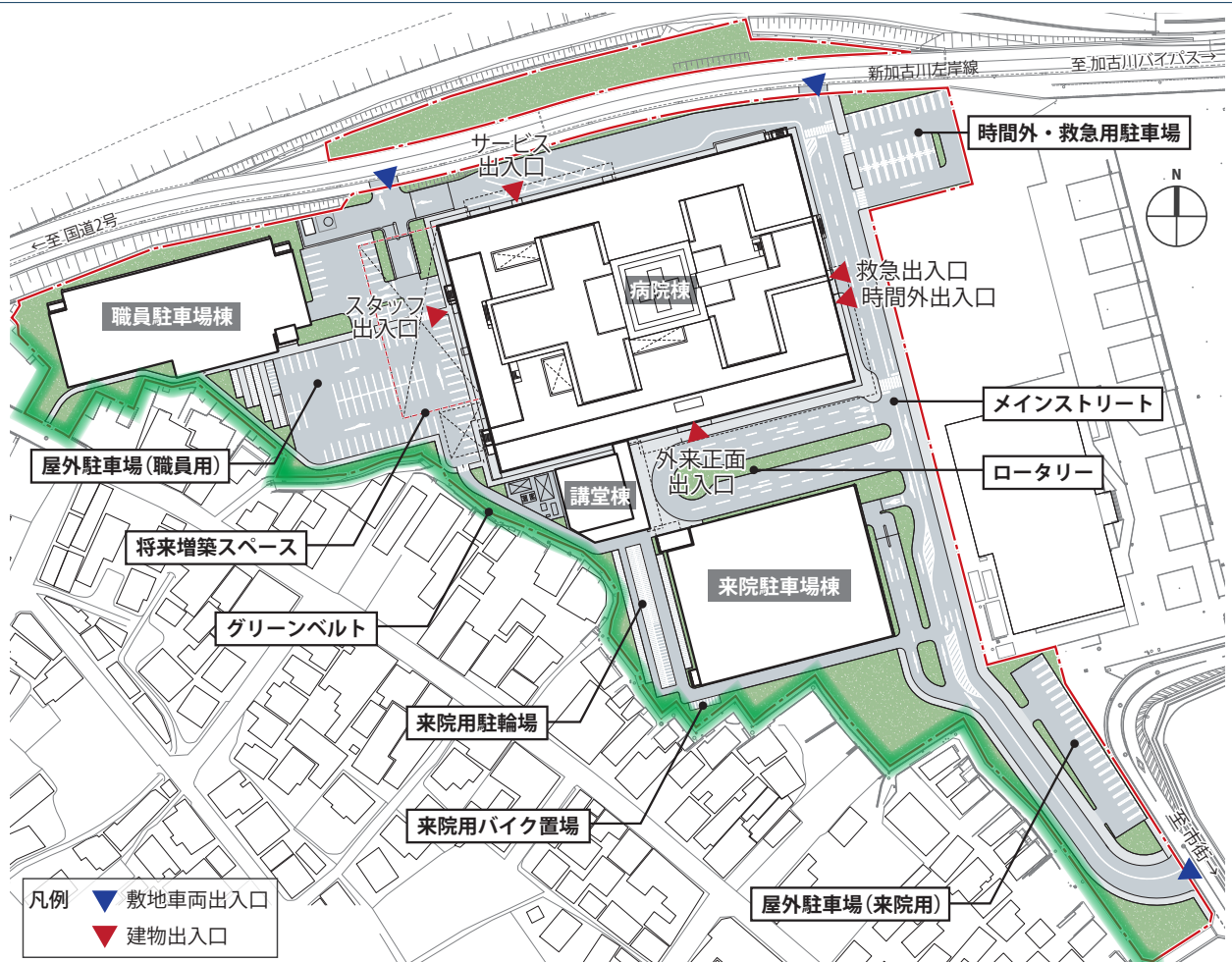
2. 建築計画の概要

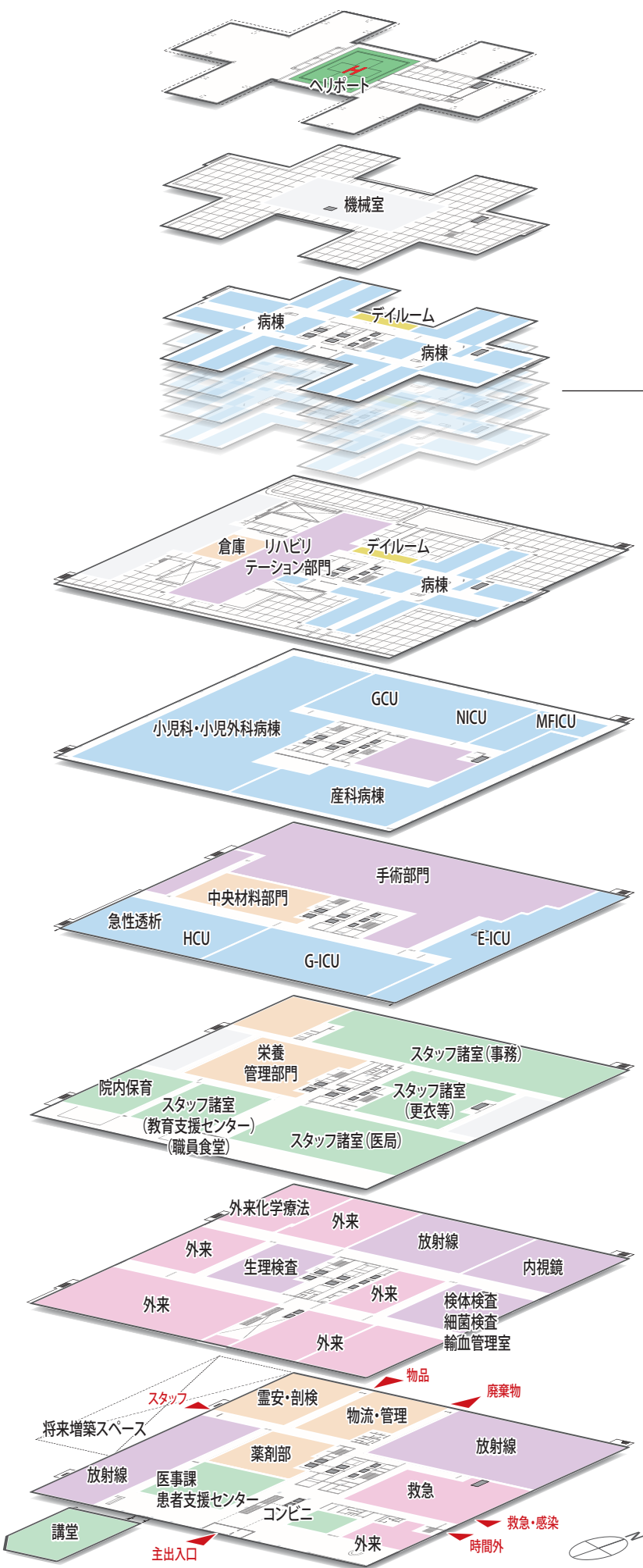
施工場所	加古川市加古川町本町 439 番地外
敷地面積	約 30,400 m ²
構造形式	鉄筋コンクリート造(免震構造)
階数	地上 11 階 高さ約 49m
延床面積	約 48,000 m ² (病院棟 + 講堂棟)

3. スケジュールの概要

H24年度				H25年度												H26年度												H27年度												H28年度											
11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12														
基本設計				実施設計																																															
																準備工事												新築工事												竣工 秋 開院予定											

4. 配置図





屋上階

ヘリポート

11階

機械室

10階

脳神経外科・耳鼻いんこう科・眼科・皮膚科病棟(45床)
糖尿病代謝内科・腎臓内科・神経内科・総合内科病棟(45床)

9階

呼吸器内科・呼吸器外科・口腔外科病棟(45床)
泌尿器科・婦人科・放射線科・一般内科病棟(45床)

8階

【消化器センター(90床)】
消化器内科病棟(45床)
消化器外科病棟(45床)

7階

【心臓血管センター(90床)】
循環器内科病棟(45床)
循環器内科・心臓血管外科・形成外科病棟(45床)

6階

リハビリテーション部門
整形外科病棟(43床)

5階

産科病棟(48床)
MFICU(6床)
小児科・小児外科病棟(56床)
NICU(15床)
GCU(30床)

4階

手術部門	急性透析部門
E-ICU (12床)	病理検査部門
G-ICU (14床)	中央材料部門
HCU (16床)	臨床工学部門

3階

スタッフ諸室
(教育支援センター・職員食堂・事務・医局・更衣等)
栄養管理部門
院内保育

2階

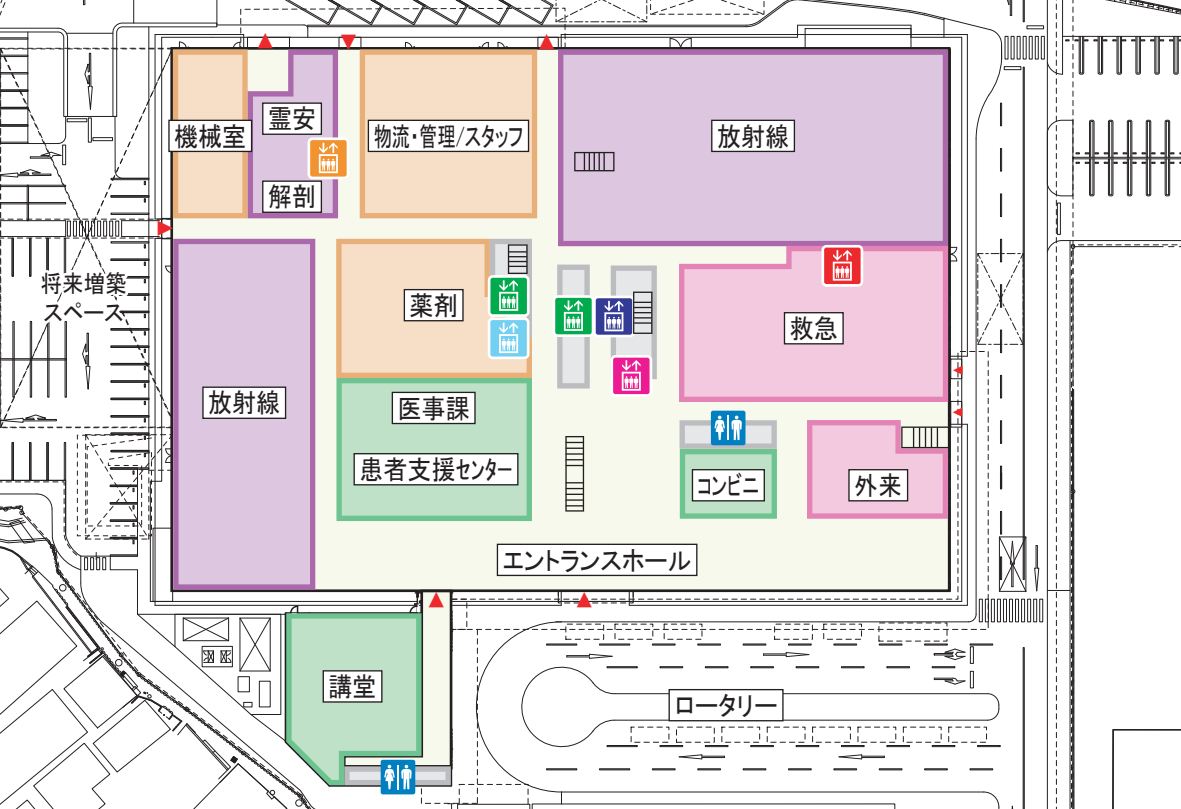
外来部門	内視鏡部門
放射線部門	外来化学療法
(一般撮影・透視・乳房撮影)	
中央臨床検査部門	

1階

救急部門	霊安・剖検部門
放射線部門(CT・MRI・アンギオ)	物流・管理部門
外来部門	コンビニ
医事課・患者支援センター	講堂

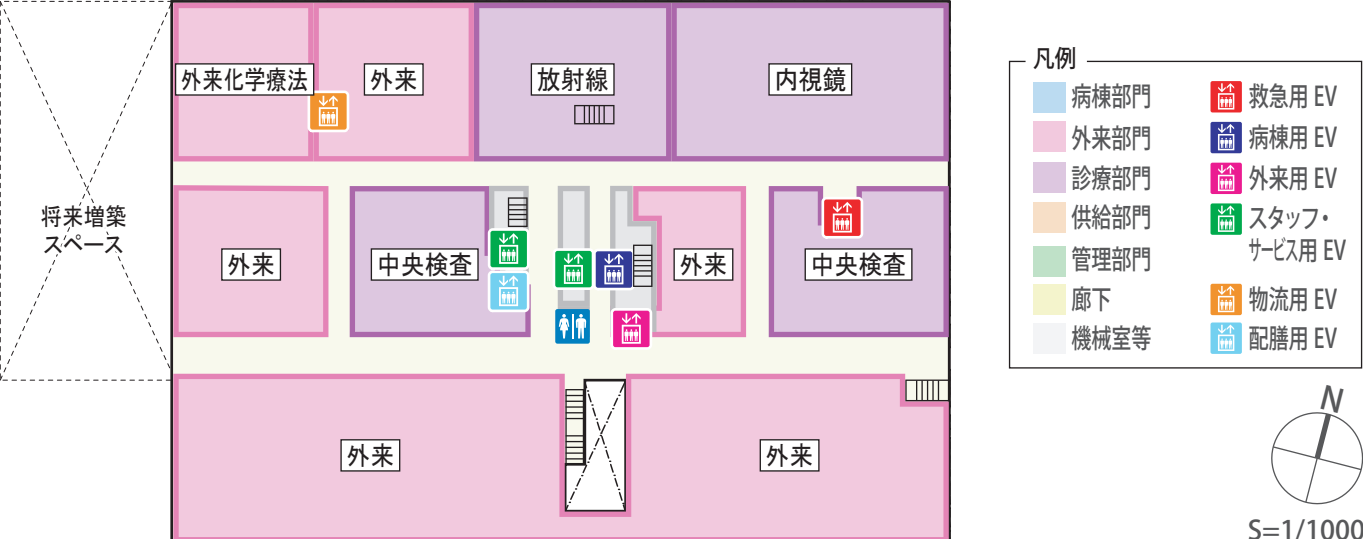
1 階平面構成

- ・救急車動線との連携を考慮し、救急医療に関連する部門（救急外来、アンギオ、CT、MRI、口腔外科）を病院棟東側に配置。
- ・サービス車両との連携を考慮し、物流・管理部門、管理運営部門、薬剤部門、及び霊安室を病院棟北西部のスタッフゾーン内に配置。
- ・病院棟南側のロータリーに面してエントランスホールを配置。
- ・講堂はロータリーに面した位置に配置することで日常の地域開放が可能であると共に災害時にも利用可能。
- ・廊下を西側外壁まで伸ばす（オープンエンド）ことで、将来の増築可能性を確保。

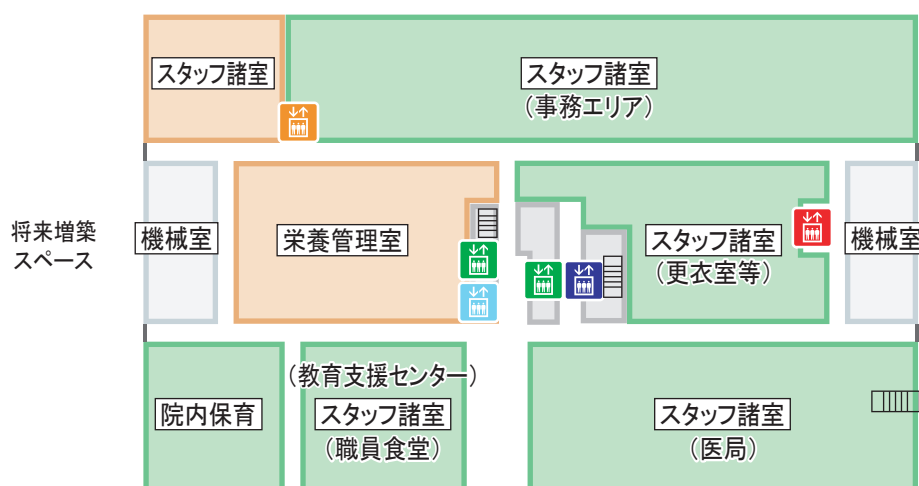


2階平面構成

- ・外来部門と診療部門（放射線部門、内視鏡部門、中央臨床検査部門）を配置。
- ・東西方向に2本の基軸動線（ホスピタルストリート）を設定。
ホスピタルストリートはエレベーターや各受付と接続し、わかりやすい動線を確保。
- ・スタッフエリアは外周部に患者動線と完全に分離して計画。
- ・南側には外来部門、中央部には外来部門及び中央臨床検査部門、北側には外来及び放射線部門をゾーニング。



3階平面構成

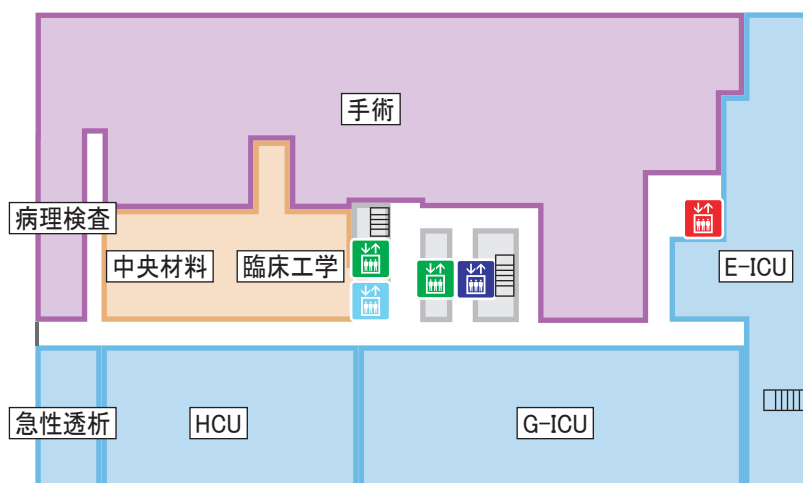


- ・スタッフ専用の部門（管理運営部門、福利厚生部門、教育支援センター）を配置。
- ・外来・入院患者と区分されたスタッフ専用の階として設定し、安心して働く環境を確保。

3階

スタッフ諸室
栄養管理部門
院内保育

4階平面構成

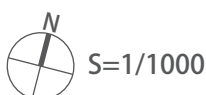
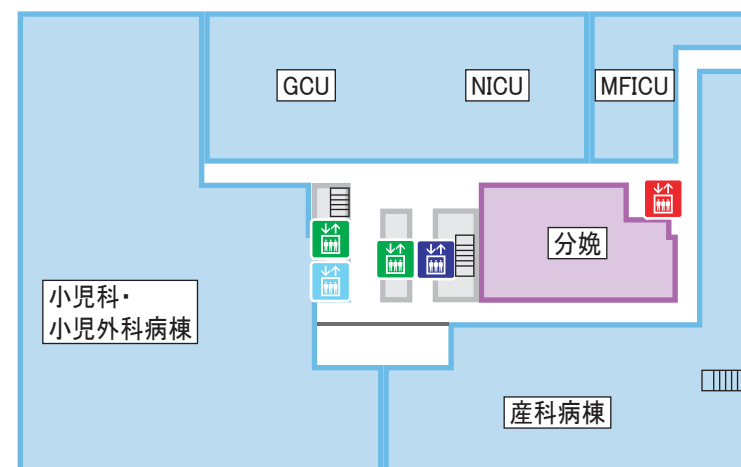


- ・高度医療部門を構成する手術部門とE-ICU、G-ICU、HCU、急性透析室を配置。
- ・手術部門と連携する中央材料部門、臨床工学部門、病理検査部門を同フロアに配置。

4階

手術部門
E-ICU (12床)
G-ICU (14床)
HCU (16床)
急性透析部門
病理検査部門
中央材料部門
臨床工学部門

5階平面構成



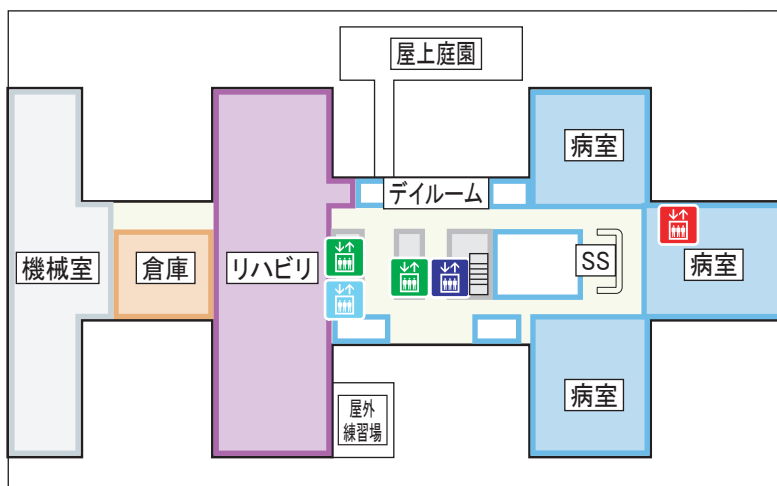
- ・1フロアに周産母子センターと子どもセンターを集約して配置。
- ・周産母子センターは救急用EVとの連携に配慮して東側に配置。

5階

産科病棟 (48床)
MFICU (6床)
小児科・小児外科病棟 (56床)
NICU (15床)
GCU (30床)

6 階平面構成

- ・西側にリハビリテーション部門、東側に整形外科病棟を配置。

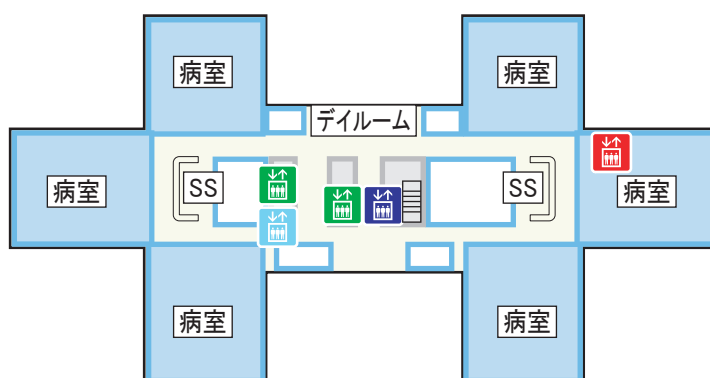


6階

リハビリテーション部門
整形外科病棟 (43床)

7～10階平面構成

- ・1フロアあたり2看護単位の病棟を計画。
- ・病室はスタッフステーションを中心に3方向に配置。
- ・デイルームは眺望に優れた加古川方向に向けて配置。



7階

【心血管センター (90床)】
循環器内科病棟 (45床)
循環器内科・心血管外科・
形成外科病棟 (45床)

8階

【消化器センター (90床)】
消化器内科病棟 (45床)
消化器外科病棟 (45床)

9階

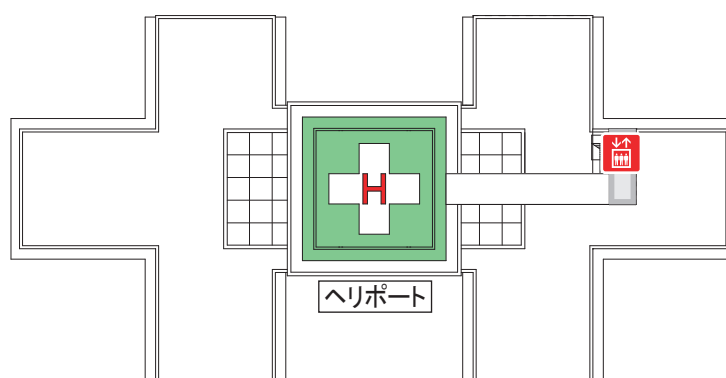
呼吸器内科・呼吸器外科・口腔外科病棟 (45床)
泌尿器科・婦人科・放射線科・一般内科病棟 (45床)

10階

脳神経外科・耳鼻いんこう科・眼科・皮膚科病棟 (45床)
糖尿病代謝内科・腎臓内科・神経内科・総合内科病棟 (45床)

ヘリポート

- ・ドクターヘリの利用するヘリポート（飛行場外離着陸場）を設置。
- ・救急用EVを着床させ、患者の迅速な搬送経路を確保。



凡例

病棟部門	救急用 EV
外来部門	病棟用 EV
診療部門	外来用 EV
供給部門	スタッフ・サービス用 EV
管理部門	物流用 EV
廊下	配膳用 EV
機械室等	



【E-ICU】

Emergency-Intensive Care Unit の略。救急部門に直結した集中治療室。救急医療で搬送された危篤状態の患者等を管理・治療するための病室。

【G-ICU】

General-Intensive Care Unit の略。手術後等の重篤な急性機能不全の患者の容態を 24 時間体制で管理し、より効果的な治療を施すための病室。

【HCU】

High Care Unit の略。高度治療室。急性期医療施設において一般病棟と集中治療室の中間に位置づけられ、重篤な患者に対して手厚い体制で治療を行うための病室。

【NICU】

Neonatal Intensive Care Unit の略。新生児特定集中治療室。新生児の治療に必要な保育器、人工呼吸器等を備え、24 時間体制で集中治療が必要な新生児のための治療室。

【GCU】

Growing Care Unit の略。NICU（新生児集中治療室）の後方病床として、NICU で治療した後、状態が安定してきた新生児の経過を観察しながら、退院に向けた準備をする病室。

【MFICU】

Maternal-Fetal Intensive Care Unit の略。母体胎児集中治療室。合併症妊婦などハイリスク妊娠や切迫流産の可能性の高い母体・胎児に 24 時間体制で集中治療に対応するための病室。

【デイルーム】

各病棟に設置される入院患者用の休憩室。

【ドクターヘリ】

救急医療用の医療機器等が装備され、救急専門医と看護師が同乗して救急現場等から医療機関に搬送するまでの間、患者に救命医療を行うことができる専用ヘリコプター。

【免震構造】

建物の基礎部分等に地震の震動を軽減させる装置をつけ、建物に揺れが伝わりにくくする構造。



お問い合わせ先

地方独立行政法人加古川市民病院機構 事務部 総務室

TEL : 079-432-3531 (代表)

URL : <http://www.kakohp.jp/>